

あおば 3月号



災害への備えを

訪問看護ステーションゆい若葉台

看護師 栗山 耕太

今年の1月1日に、石川県能登半島を震源とする地震が起きました。災害復旧・復興はこれからです。そして今月の3月11日は、東日本大震災から13年が経ちます。日本は、世界的に見ても地震が多い国とされています。これまでも幾度となく大きな地震が起きています。

29年前の1月17日、阪神淡路大震災が起こりました。地震発生後に、当時私が働いていた特別養護老人ホームが、神戸市長田区に職員を派遣し、私も行きました。当時は震災後2週間経過していましたが、地震の影響で東海道山陽新幹線は新大阪までしか行けず、その先の神戸までは、電車とバスを乗り継いで行きました。

神戸市に近づくにつれて住宅やビルが倒壊し、阪神高速道路の橋脚がいくつも倒れているすぐそばを私たちが乗ったバスは走りました。今でもその衝撃的な光景が目に焼き付いています。

派遣先の神戸市長田区では、町の一部が震災火災で焼けてしまい、震災後2週間経過しても焼け焦げたにおいが残っていました。その地区は防火用水や消火栓が地震で使えず、消火活動が遅れていました。同じ地区の1次避難所（小学校）では、飲料水や生活用水のための給水車や自衛隊が設営したテントのお風呂を待つ長蛇の列ができていました。避難生活を続けている高齢者が、脱水症状や感染症にかかる方が増え始めていました。体育館で冷たい床にうずくまるように寝ていた方は、避難所のトイレに行くのをためらって水分をとらずに軽い脱水症状を起こしていました。その中で、高齢者が過ごせる2次避難所の開設準備を私たちは手伝いました。1次避難所から2次避難所へ移り、温かいベッドで寝て、温かい食事を食べ、徐々に回復していきました。

29年前の経験から、「水」が貴重でありがたい物であることを改めて感じました。災害の多い日本では、いつ自分たちの住む地域が災害に遭うか分かりません。突然起こる災害に備えて、平日頃から、水・食料・衛生用品・常備薬などを準備しておくといでしょう。

2/24 (土) 内覧会

稲城台病院と合同で内覧会を行いました。デンマークイン若葉台では、施設内見学、介護予防体操、AI 歩行分析の体験、施設活動などの展示、相談などを行いました。「若葉台3丁目マーケット」として、米粉蒸しパン、花&カフェ、かつ丼、チョコバナナ、おしるこ、焼き芋などの出店があり、にぎわっていました。

多くの方にご参加いただき感謝申し上げます。次回の参加もお待ちしております。



わかばカフェ



地域の方々に向けて、月1回、生きがいきづくり、健康づくり、仲間づくりのための介護予防サロン「わかばカフェ」を開催しています。

今月は、音楽療法講座。多くの方が参加して下さり、歌や合奏の体験講座を行いました。参加者の方々の素敵な歌声と楽器の音色が響きました。

次回は3月27日(水) 14:00~「認知症について」です。



行事紹介 節分



各フロアで節分を行いました。フロアにやってきた本格的な赤鬼や青鬼に、「鬼は外~福は内~」とカいっぱい豆をまき、追い払いました。利用者様の元気な声が響き渡りました。

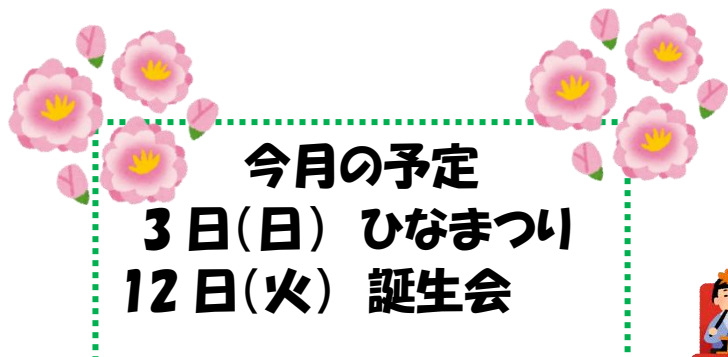
デイケアでは、恵方巻づくりも行いました。



栄養科イベント パフェづくり



おやつ時に利用者様と一緒にパフェづくりを行いました。アイスは3種類から選択し、生クリームもたっぷりのせ、見た目もかわいらしく、利用者様の笑みがこぼれていました。



特定医療法人研精会 介護老人保健施設 デンマークイン若葉台



施設紹介
入所(認知症専門棟あり)
短期入所療養介護
通所リハビリテーション
訪問リハビリテーション

地域活動
介護予防サロンわかばカフェ

併設施設
稲城台病院
訪問看護ステーションゆい若葉台
介護支援センターゆい若葉台



★お気軽にお問い合わせください。
★職員随時募集中
住所：稲城市若葉台3-7-1
電話：042-331-3030

